

海にたまりつつけるプラスチックごみ

海洋プラスチックごみは、現在世界的な問題となっています。私たちが住む日本でも、海のきれいな沖縄県の与那国島や、世界遺産に登録されている北海道の知床において多くの海洋プラスチックごみが確認されており、生態系や漁業などへ様々な問題を引き起こしています。

沖縄県与那国島



写真:公益財団法人 環日本海環境協力センター

北海道知床半島



写真:林野庁北海道森林管理局

プラスチックごみは分解するのに数百年かかる場合があります。毎年世界で800万トンものごみが海に流れ込んでいるといわれ、2050年には魚よりもプラスチックごみの量が多くなるといわれています。

海の生物への悪影響が心配される「マイクロプラスチック」

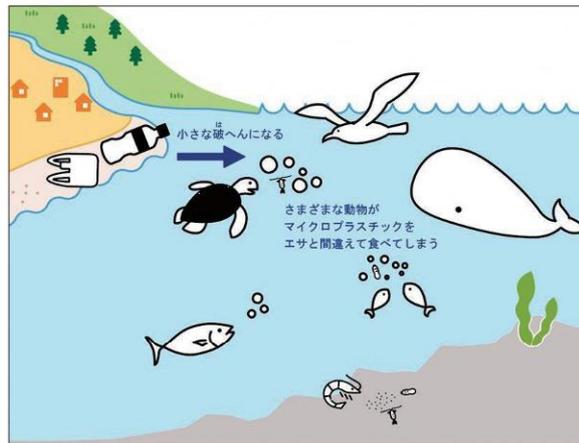
海に流れ出たプラスチックは、紫外線などによって劣化し、波などによって小さなプラスチック片となります。5mm以下まで小さくなった場合は、「マイクロプラスチック」と呼ばれています。



ボロボロになったペットボトル



砂浜で見つかった小さなプラスチック



日本列島から1,000km離れた太平洋上で採取したマイクロプラスチック

出典:東京農工大学高田秀重教授

【マイクロプラスチックの問題点】

プラスチックは、小さくてもその性質は変わらず自然界では分解されにくいこと、また、有害化学物質を吸着しやすい性質があることから、生物や人体に取り込まれると有害物質が体内に蓄積される可能性があります。

また、小さすぎて上手に回収する方法がなく、回収が困難であることが課題となっています。

富山湾のごみの約8割は、 陸で捨てられたもの

富山県のほとんどの海岸で海洋ごみが確認されています。環境省の調査によると、その量は1年間に1,800トン(ごみ収集車450台分)です。

岩瀬浜

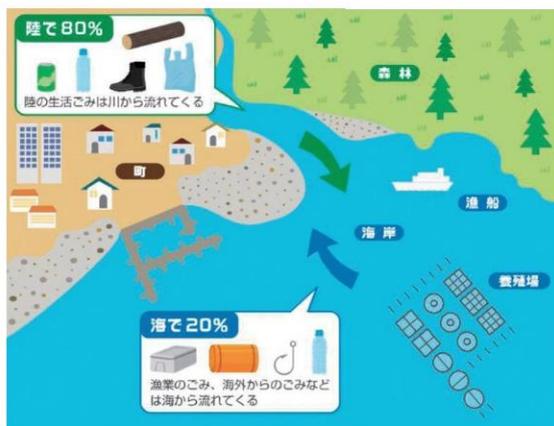


写真:富山市

六渡寺海岸

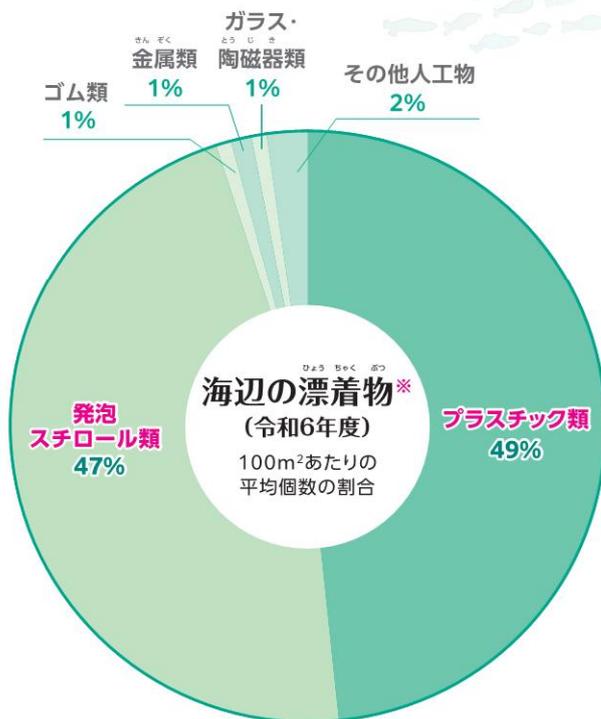


写真:射水市



富山湾のごみの場合、約8割が陸で捨てられたものとされており(環境省調査結果)、残りは、漁業で発生したものや海外から流れてくるものなどと考えられています。

陸で捨てられたごみの多くは適切に廃棄・処理されていますが、一部管理できていないごみが、風にとばされるなどして川や用水を経て海に流れ着きます。



富山県内の海岸のごみは、 プラスチックが多い!

[令和6年度 富山県内の漂着物調査結果]

※宮崎・境海岸(朝日町)、岩瀬浜(富山市)、海老江海岸(射水市)、松太枝浜(高岡市)、島尾・松田江浜(氷見市)

出典:令和6年度 海辺の漂着物調査
(公益財団法人 環日本海環境協力センター)



富山市の海洋ごみ対策

オイルフェンスの設置

富山市では河川にオイルフェンス※を設置することで、河川等を通るごみの種類やその割合を分析するとともに、効率的な回収処理の方法や、オイルフェンスの効果・影響について調査しています。

※水に浮き、水面の油などの流出を防ぐためのもの。水に浮く比較的小さいごみを回収することができる。

実施場所・期間

令和7年度は富山市内を流れる「がめ川」にオイルフェンスを6月5日(木)～8月5日(火)の約2か月間設置しました。回収は週1回行いました。



オイルフェンスでの回収結果

河川に直接ポイ捨て※されたもの以外に、道路にポイ捨てされたものが雨風により河川に落ち、海洋ごみになっていると考えられます。また、外に置いてあるごみ箱やごみ集積所のあふれたごみが十分に管理がされないまま川に流れこんでしまうことも考えられます。

※ポイ捨ては不法投棄であり犯罪です。



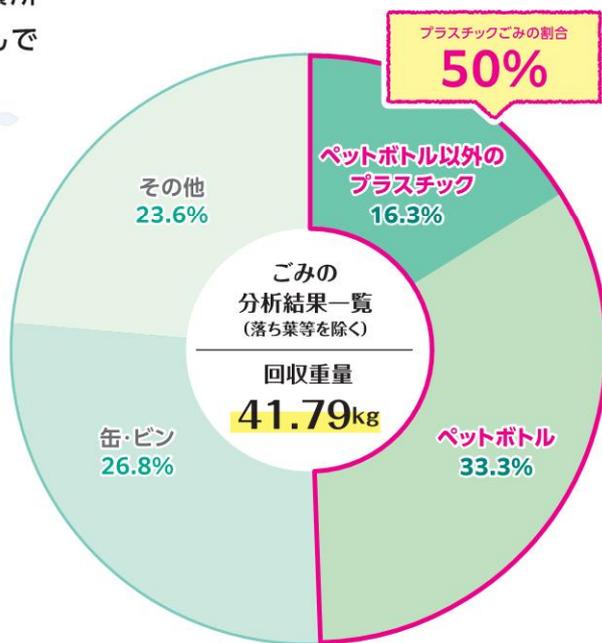
週一回で回収されたごみ



プラスチック容器



川に落ちてしまったと思われるボール



富山市×日本財団 海洋ごみ対策のモデル構築に向けた共同事業

富山市は全国で海洋ごみ対策を進める(公財)日本財団と海洋ごみ対策にかかる協力協定を締結し、共同で事業を実施しています。



富山駅で海洋ごみ問題を伝える
バナーフラッグの掲示



路面電車のラッピング



ボランティアによる岩瀬浜での海岸清掃

富山市の海洋ごみ対策 海洋ごみ問題の啓発活動

《 海洋ごみに関する小学生への特別授業 》



バスツアー [神保小学校、草島小学校、岩瀬小学校、山田小学校、杉原小学校]

初めに、がめ川に設置してあるオイルフェンスを見学し、まちなかを流れる河川にごみが生きている現状を学びました。その後、講義を受け、海洋ごみについての知識を深めました。ツアーの最後には、岩瀬浜でのごみ拾いやマイクロプラスチック探しを行い、漂着するごみの実状を学びました。



オイルフェンスの見学



岩瀬浜でマイクロプラスチックを探す様子



ごみマップ作製 [神保小学校、草島小学校、山田小学校、杉原小学校]

海洋ごみにつながるごみが自分たちの校区に落ちていないかを調査しました。自分たちの通学路に、実は海洋ごみにつながるごみが多く落ちていることを学びました。



校区のごみを調査



調査で回収されたごみ



回収したごみを分類

《 その他の啓発イベント 》



親子バスツアー

親子を対象としたバスツアーを行いました。カードゲームやオイルフェンスの見学などを通じ楽しみながら親子で海洋ごみについて学びました。

